

2021 春夏の健康応援！ 店頭訴求コンテスト

実施期間：2021年4月19日(月)～8月31日(火)

平素より弊社ならびに弊社商品に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

この度、「春夏の健康応援」をテーマにした

店頭訴求コンテストを実施させていただくこととなりました。

熱中症対策や体調管理への関心が高まるこの時期、

「水分+電解質・乳酸菌・栄養バランス」を効果的にアピールし、

貴店の売上拡大に貢献できる企画としてご提案いたします。

ぜひこの機会にご参加を賜りますようお願い申し上げます。

応募要項

応募締切…2021年9月10日(金)

対象店舗…全国の販売店様

対象商品…ポカリスエット全品、ポカリスエットイオンウォーター全品
ポディメンテ全品、カロリーメイト全品

参加条件…コンテスト期間中に、対象商品の売場展開を2週間以上お願いいたします。

「店舗コース大陳賞」は対象商品合計30ケース以上の陳列

「店舗コース3ブランド横断賞」はポカリスエット(ポカリスエットイオンウォーターを含む)
ポディメンテ、カロリーメイト計3ブランドの展開を必須。対象商品合計10ケース以上の陳列

「店舗コースルーキー賞」は前年のコンテスト不参加店舗
かつ対象商品合計10ケース以上の陳列

「企業コース」は10店舗以上、または10店舗に満たない企業は全店参加の上、
全店舗とも対象商品10ケース以上の陳列

応募方法…売場写真を撮影いただき、画像データを弊社営業担当者へお渡しください。

審査方法…弊社選考委員とダイヤモンド・チェーンストアにより厳正な審査を行います。

お問い合わせ…詳細は弊社営業担当者へお問い合わせください。

結果発表…ダイヤモンド・チェーンストア2021年11月15日号(予定)の誌上にて
発表させていただきます。

参加コース・各賞

店舗コース

大陳賞		※対象商品30ケース以上の陳列必須	
全期間共通	大陳賞に参加かつ第1弾もしくは第2弾に参加した店舗	スーパードラッグ	30万円 1店舗様
第1弾	4/19(月)～6/30(水)	ドラッグ	各15万円 2店舗様
		準ドラッグ	各8万円 5店舗様
第2弾	7/1(木)～8/31(火)	ドラッグ	各10万円 2店舗様
		準ドラッグ	各5万円 5店舗様

3ブランドの展開必須/対象商品合計10ケース以上の陳列	3ブランド横断賞	各5万円 5店舗様
前年のコンテスト不参加店舗/対象商品合計10ケース以上の陳列	ルーキー賞	各2万5千円 5店舗様

企業コース	
10店舗以上もしくは全店での参加/対象商品10ケース以上の陳列	ドラッグ 10万円 1企業様
	準ドラッグ 各5万円 10企業様



売場展開例:春夏の売場に、体調管理提案を!

熱中症対策売場



行政連携売場



3ブランド横断売場



審査のポイント

陳列ボリューム

春夏の健康応援をテーマにした陳列

自治体連携の販促物やメッセージ性のあるオリジナルPOPの設置

展開のブランド数やSKU数

陳列期間

販促をバックアップするCM

*CM放送期間とGRP数は変更になる場合があります。
*CMグラフィックはイメージです。

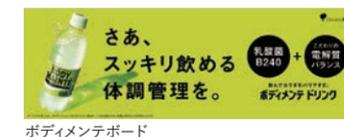
	4月	5月	6月	7月	8月	
POCARI SWEAT ion water	仮 700 GRP 4/10-4/18	仮 700 GRP 5/8-5/16	仮 600 GRP 6/5-6/13	800 GRP 7/3-7/11	仮 600 GRP 7/24-8/1	GRP未定 8/7~8/15
BODY MAINTÉ		仮 新CM 1000 GRP 4/24-5/2		仮 新CM 1000 GRP 7/17~7/25		
CalorieMate	仮 新CM 900 GRP 4/3-4/11			仮 新CM 600 GRP 7/10-7/18		

販促ツール

ブランド横断販促ツール



*販促ツールにつきましては、弊社営業担当者にお問い合わせください。
*ツールのデザイン・仕様は、変更になる場合がございますので予めご了承ください。



地域住民に寄り添った話題でアプローチ 地元の高校生とコラボしたオリジナルポスターを活用

福島県いわき市を中心に地域とのつながりを重視した店づくりを行っているマルト(福島県いわき市/安島浩社長)。同社は昨年より大塚製薬主催のディスプレイコンテストに参加し、地域住民に寄り添った独自の販促で着実に成果を挙げている。

コンテスト初参加で アイデア賞を受賞

明治25年創業のマルトは、福島県および茨城県内に37店舗を展開するスーパーマーケットチェーンだ。同社では地域密着型スーパーとして、いわき産コシヒカリを使った手づくりおにぎりや地元の高校生が開発にかかわった食パンの販売、青少年のスポーツイベントの支援など、地域の社会貢献に積極的に取り組んでいる。

また新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け消費者の購買行動が大きく変化するなか、デジタルサイネージによるレシピ提案を行うなど、デジタルトランスフォーメーションにも注力している。

マルトは、いわき地区で最も多く「ポカリスエット」を販売しているが、同社の商品本部ドライグロサリー部食品部係長の枝並義弘氏によると、大塚製薬主催のディスプレイコンテストに参加したのは「2020・夏ポカリスエットディスプレイコンテスト」が初めてだったという。

安島浩社長の声かけがきっかけで参加したという3店舗は、それぞれ工夫を凝らした売場を構築。初参加ながら「スーパーマルトSC湯長谷店」がアイデア賞、「同 岡小名店」「同 磯原店」がルーキー賞をそれぞれ受賞した。

オリジナルのポスターで 視認性アップ

受賞店のなかでも、湯長谷店、岡小名店で行った取り組みは他社にはないユニークなものだった。

コロナ禍による閉塞感で街の活気が失われるなか、地元高校のフラダンス部とコラボレーションした「ポカリスエット」のオリジナルポスターを活用。モニターではCMとドキュメンタリーを再生し、すべての汗を応援するブランドの意向を伝えつつ、逆境でも懸命に汗を流す若者の姿を通じて来店客に元気を与える、というテーマで売場をつくった。

この取り組みが奏功し、多くの客がポスターを見て足を止めた。その結果、コンテスト実施店では未実施店と比べ、約30%近くの売上が伸びたことに加え、ポスター撮影に協力してくれた高校生がLINEなどのSNSを使って情報を拡散したことで



地元高校のフラダンス部とコラボレーションしたオリジナルポスターを活用し「ポカリスエット」のブランドメッセージと運動した親和性の高い演出で来店客の目を引く売場となっている



株式会社マルト商事
商品本部ドライグロサリー部 食品部 係長
枝並 義弘氏

店舗の認知や企業イメージの向上にもつながったと、枝並氏は語る。地元住民に寄り添った提案型の売場づくりで着実に成果を出している。

同社では今年も大塚製薬「春夏の健康応援 店頭訴求コンテスト」の参加を予定している。枝並氏は「今回も地元の高校生とコラボレーションしたポスターを活用し、商品の販促とともに、地域の生活者に元気を届けられれば」と意気込みを語っている。

